



## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2017年8月	9 月	10 月	11 月	12 月	2018年1月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.2	△ 0.9	△ 1.5	△ 0.1	0.7	0.0
	乗用車新車登録台数	6.5	5.1	2.4	△ 3.7	△ 10.7	△ 0.7
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 68.8	△ 45.4	△ 22.8	△ 26.5	△ 52.0	△ 32.3
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	36.2	77.2	△ 50.7	40.0	2.5	△ 53.4
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 24.7	△ 2.7	△ 10.7	△ 16.8	△ 19.8	5.4
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	1.0	0.0	1.6	△ 2.1	2.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.05	0.06	0.05	0.02	0.07	0.08
	雇用保険受給者実人員	4.5	1.4	5.3	5.5	2.3	0.1

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

### (2) 前月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2017年8月	9 月	10 月	11 月	12 月	2018年1月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.4	△ 11.8	8.0	△ 0.0	26.3	△ 17.3
	乗用車新車登録台数	△ 15.8	38.7	△ 16.6	3.0	△ 12.4	15.5
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 31.7	34.7	14.6	△ 36.2	22.6	△ 3.3
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 23.4	96.2	△ 10.2	△ 21.0	△ 9.2	△ 19.4
住宅投資	新設住宅着工戸数	4.4	9.3	10.3	△ 25.0	7.7	△ 18.0
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	0.5	0.0	△ 1.7	△ 0.1	4.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	r 0.01	r 0.01	r 0.01	r 0.01	r 0.02	0.01
	雇用保険受給者実人員	5.2	△ 8.8	△ 1.7	△ 4.9	△ 6.6	△ 0.2

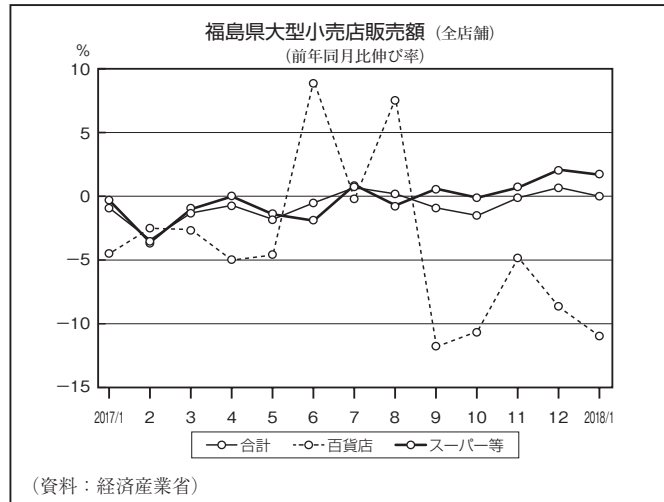
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

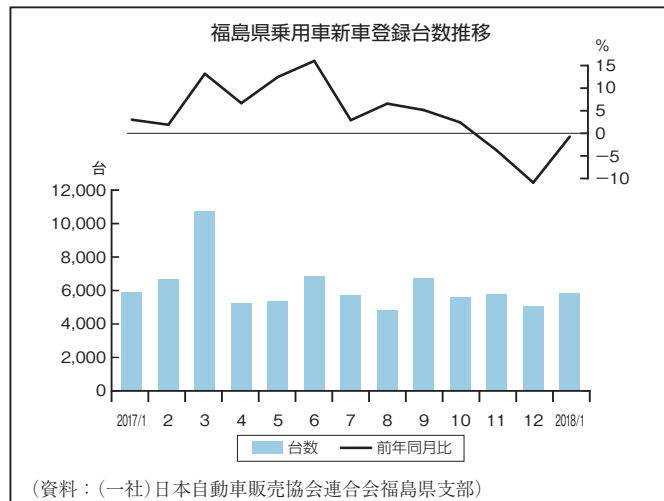
##### 大型小売店：2カ月連続で前年比増

1月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で213億28百万円（前年同月比+0.0%）とわずかながら2カ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品がともに前年を下回り、合計では同△11.0%となった。一方、スーパーは、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回ったことから、合計では同+1.7%となった。



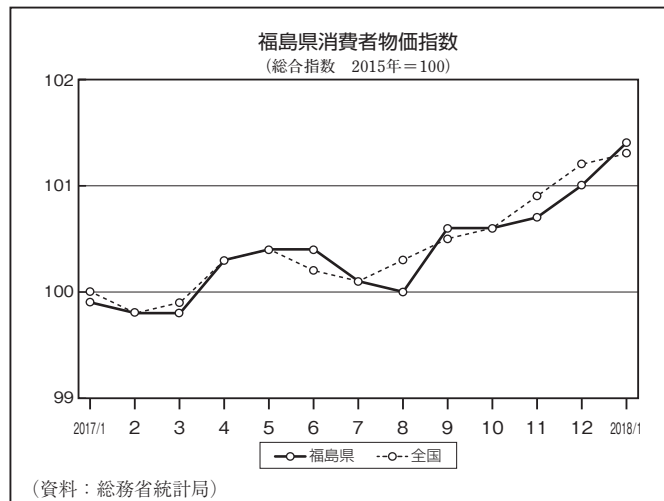
##### 乗用車販売：3カ月連続で前年比減

1月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,813台（前年同月比△0.7%）と、3カ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、軽乗用車が2,404台（同+10.5%）で2カ月ぶりに前年を上回ったものの、普通車が1,764台（同△6.8%）と2カ月ぶり、小型車が1,645台（同△7.9%）で4カ月連続と、ともに前年を下回った。



##### 消費者物価指数：前年比・前月比ともに上昇

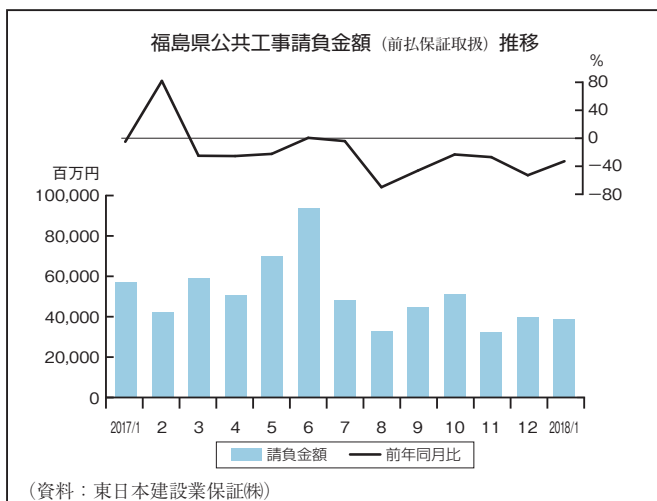
1月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が101.4で前年同月比+1.5%、前月比+0.4%となった。費目別に前月比で見ると、「食料」の106.5（同+2.4%）など4費目で上昇し、下降したのは「被服及び履物」の94.8（同△5.6%）など3費目となった。



## 公共投資

### 公共工事：請負金額は7カ月連続で前年比減

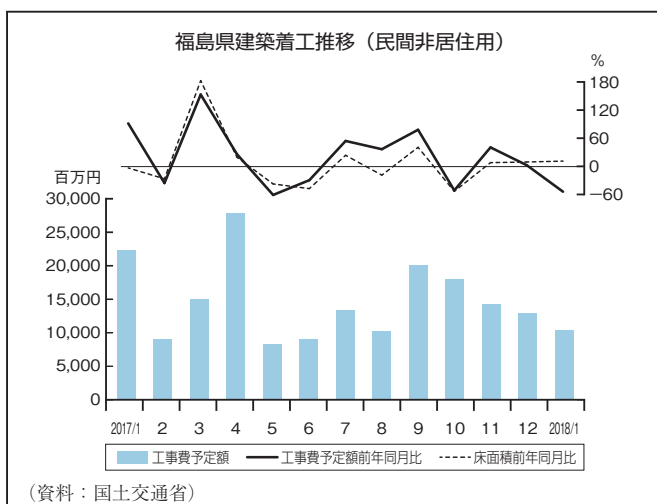
1月の公共工事前払保証取扱は、件数が309件（前年同月比△16.3%）で2カ月連続、請負金額が388億55百万円（同△32.3%）で7カ月連続、保証金額が188億51百万円（同△40.6%）で11カ月連続と、いずれも前年を下回った。



## 設備投資

### 設備投資：工事費予定額は3カ月ぶりに前年比減

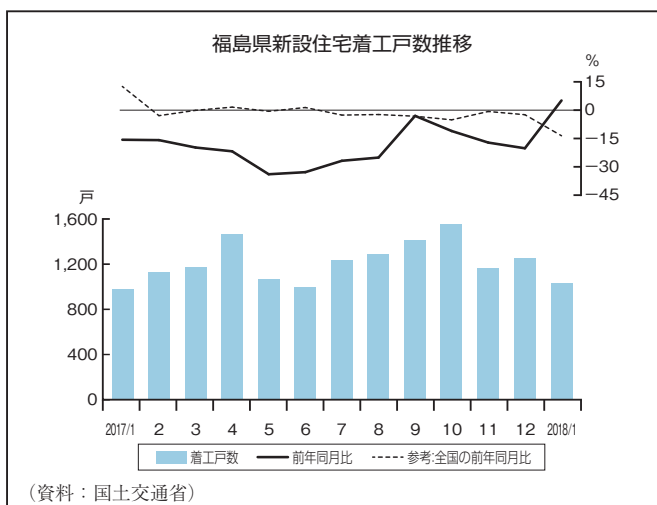
1月の建築着工（民間非居住用）は、床面積が63,705㎡（同+11.1%）と3カ月連続で前年を上回ったものの、棟数が138棟（前年同月比△8.0%）で4カ月ぶり、工事費予定額が104億15百万円（同△53.4%）で3カ月ぶり、ともに前年を下回った。



## 住宅投資

### 住宅建設：着工戸数は13カ月ぶりに前年比増

1月の県内新設住宅着工戸数は、1,028戸（前年同月比+5.4%）と13カ月ぶりに前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」は411戸（同△9.3%）と3カ月連続で前年を下回ったものの、「貸家」は428戸（同+5.2%）で13カ月ぶり、「分譲」は189戸（同+70.3%）で2カ月ぶりに前年を上回った。

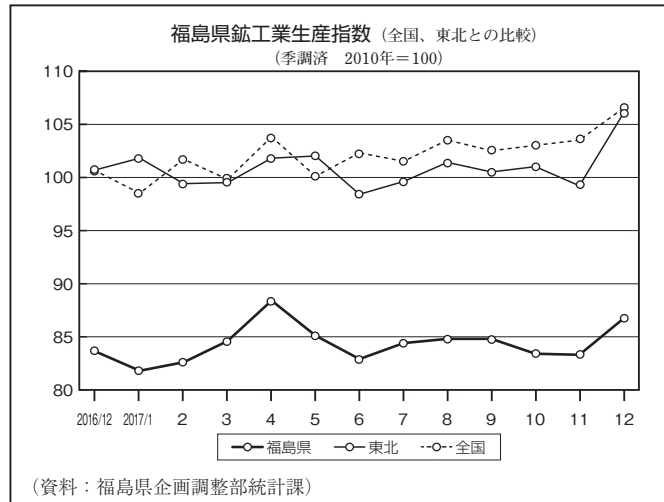


生産活動

※鉱工業生産指数は12月のデータ

鉱工業生産指数：前月比・前年比ともに上昇

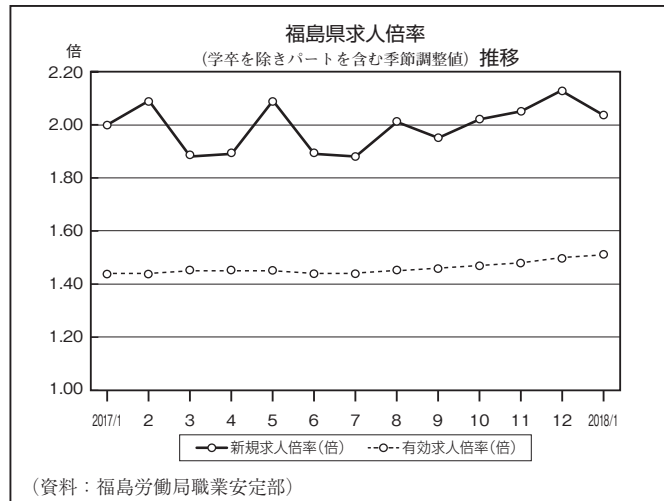
12月の鉱工業生産指数（季節調整値）は86.7で前月比+4.1%と3カ月ぶりに前月値を上回った。一方、原指数は86.4で前年比+2.6%と2カ月ぶりに前年値を上回った。業種別の季節調整値をみると、「電気機械工業」（前月比+13.5%）など13業種で上昇し、「木材・木製品工業」（同△9.0%）など5業種で低下した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比・前年比ともに上昇

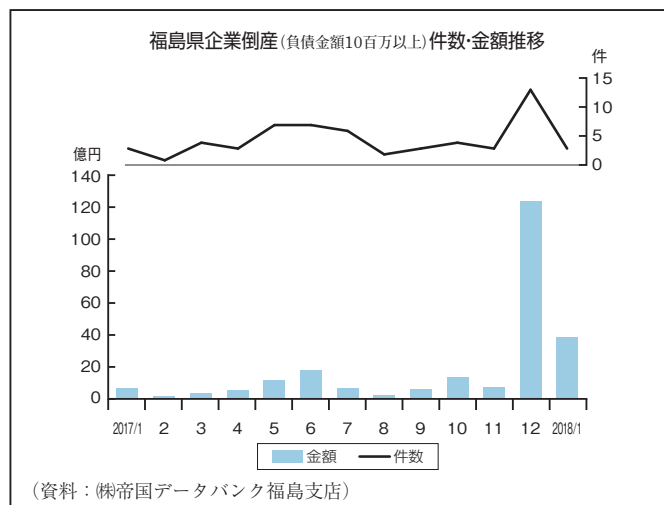
1月の新規求人倍率は、季節調整値が2.04倍（前月比△0.13ポイント）、原数値が2.01倍（前年同月比△0.10ポイント）となった。また、1月の有効求人倍率は、季節調整値が1.51倍（前月比+0.01ポイント）、原数値が1.61倍（前年同月比+0.08ポイント）となった。一方、1月の雇用保険受給者実人員は5,743人（前年同月比+0.1%）と9カ月連続で前年を上回った。



企業倒産

企業倒産：金額が前年比増

1月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件で前年同月比横ばいながら、負債総額が38億30百万円（同+489.2%）と前年を上回った。業種別では、製造業、卸売業、小売業が1件ずつとなった。

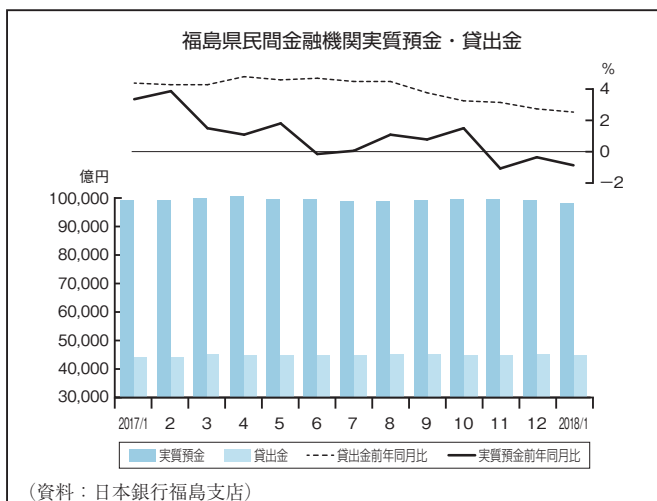


金融動向

資金需給：実質預金は前年比減

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の1月末の実質預金残高は、9兆8,541億円（前年同月比△0.9%）と3カ月連続で前年を下回った。一方、貸出金残高は、4兆5,056億円（同+2.4%）と4年8カ月連続で前年を上回った。

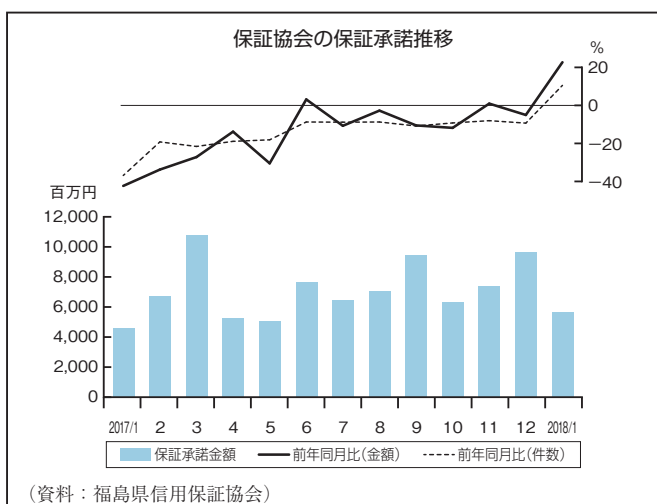
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したものの。



保証協会：保証承諾は件数・金額ともに前年比増

1月の保証承諾は、件数が420件（前年同月比+10.5%）、保証金額が55億95百万円（同+22.7%）となった。また、1月末日現在の保証債務残高は、件数34,088件（同△9.7%）、金額2,880億60百万円（同△11.3%）となった。

一方、1月中の代位弁済は、件数が32件、金額が3億23百万円となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

**家電大型専門店** 1月の家電大型専門店の売上高は、テレビやスマートフォン、冷蔵庫などに伸びがみられ、合計では前年をやや上回った。

**ホームセンター** 1月のホームセンターの売上高は、灯油販売や家電製品、作業資材・作業衣料などで前年を上回り、合計でも前年を5%ほど上回った。

**旅行** 1月の旅行取扱額は、国内・海外ともに個人が前年を下回り、団体が前年を上回り推移し、合計では前年比横ばいとなった。年末年始の並びが良くなかったために、国内・海外問わず近場に集中の傾向がみられ、国内では東北の温泉場、海外では台湾への申し込みが目立った。

**高速道路** 1月の県内自動車道出入台数は、合計で4,695,185台（前年同月比△1.4%）と、3カ月ぶりに前年を下回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,324,868台（同+1.5%）、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東

IC)が351,298台(同+1.5%)と、ともに3カ月連続で前年を上回った。一方、磐越自動車道(磐梯熱海IC~西会津IC)は505,581台(同△1.1%)で2カ月ぶり、常磐自動車道(いわき勿来IC~新地IC)は1,513,438台(同△6.1%)と5カ月連続で前年を下回った。

**福島空港** 1月の福島空港国内定期路線の利用状況は、15,498人(前年同月比+0.4%)で2カ月ぶりに前年を上回った。路線別にみると、札幌便は3,758人(同△11.2%)、大阪便は11,740人(同+4.8%)となった。(国際定期路線は全便運休)

**生産活動** ※企業ヒアリング等による結果

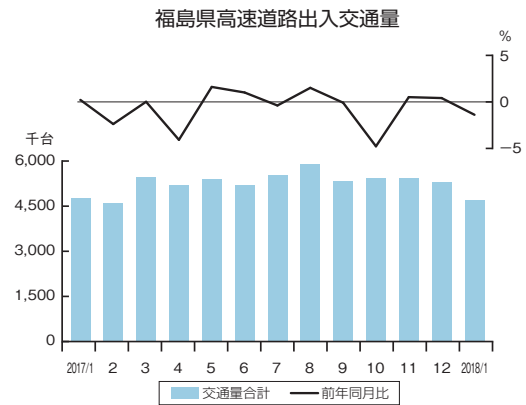
**化学** 1月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けや家庭用製品の受注が引き続き安定し、前年をやや上回る生産水準を維持している。

**鉄鋼・金属** 1月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が前年を2%ほど上回ったものの、稼働日数の関係で半導体向け電子材が前年を20%ほど下回り、全体でも前年を7%ほど下回った。1月の建機用鋳造品の生産は、前年を20%ほど上回った。1月の鋳鋼品の生産は、船用部品が前年を40%ほど下回ったものの、車輻関連については前年の約7倍の生産となった。

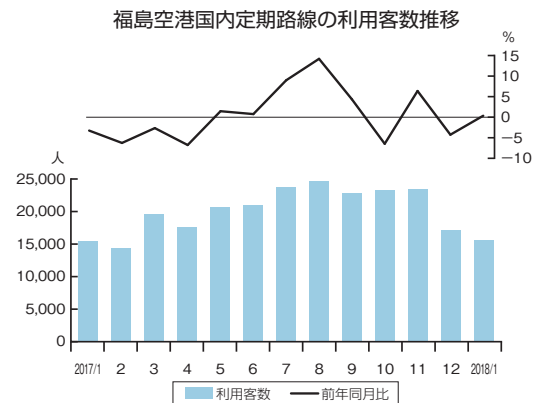
**輸送用機械** 1月の自動車用鋳造品は、トラック用の受注が引き続き好調で、前年を10%ほど上回る生産となった。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

**電気機械** 1月の電気機械の生産は、誘導炉などが前年を上回ったものの、配電盤や変圧器などが前年を下回り、合計でも前年を15%ほど下回った。

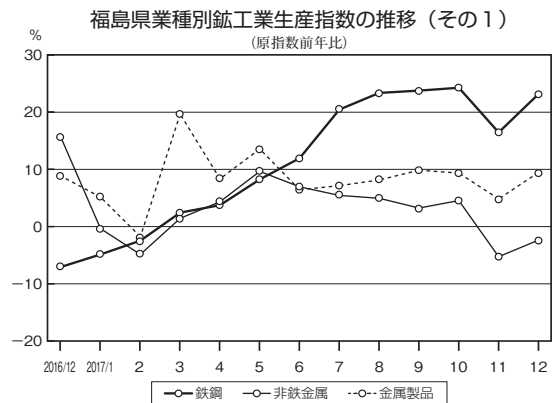
**情報通信機械** 1月の情報処理装置は、前年の生



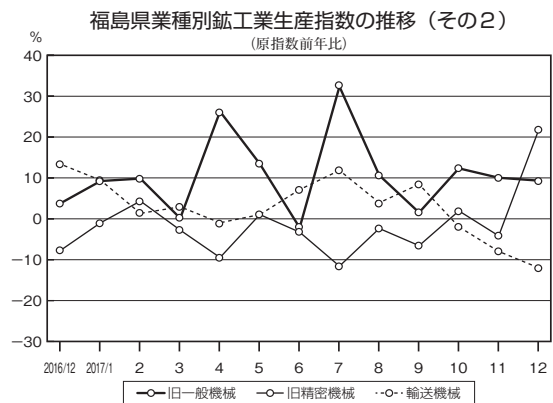
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)



(資料：福島県商工労働部空港交流課)



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県企画調整部統計課)

産水準を維持し、受注状況は安定している。

**電子部品・デバイス** 1月のLSI（大規模集積回路）の生産は、需要の回復がみられたことで前月を70%ほど、前年を4%ほど上回った。

**精密機械** 1月の医療用内視鏡は、国内外ともに好調な受注を維持し、前年を10%ほど上回る生産水準となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外受注が引き続き好調で、フル稼働の生産が続いている。

**窯業・土石** 1月の生コンクリート出荷量は、全体で103,767m<sup>3</sup>（前年同月比△4.0%）と2カ月連続で前年を下回った。地域別にみると、民需で大型工事が進むいわき地域は前年を上回ったものの、それ以外の地域は前年を下回り、特に官公需で前年を上回る地域はなかった。

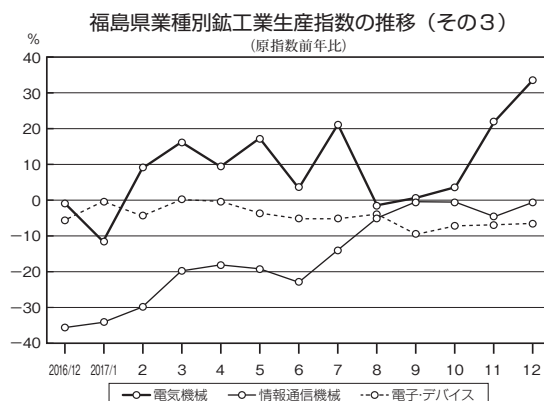
**紙・紙加工品** 1月の製紙の生産は、ノーカーボン紙の前年比減少傾向が続いているものの、感熱紙は輸出関連で需要が増加しており、全体では前年を20%ほど上回った。

**清酒** 1月の清酒移出数量は、798kL（前年同月比△1.7%）と2カ月連続で前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が341kL（同△4.9%）と8カ月連続で前年を下回ったものの、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が457kL（同+0.7%）と6カ月連続で前年を上回った。

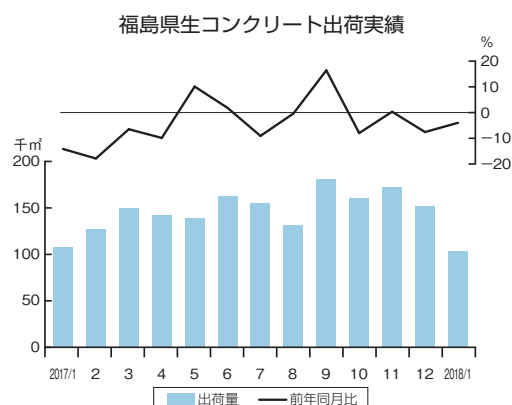
**化合繊維物** 1月の化合繊維物は、生産額が前年を40%ほど上回り、好調な生産が続いている。

**ニット** 1月のニットは、春物製品や秋冬物のサンプル品の生産が順調で、生産額は前年をやや上回った。

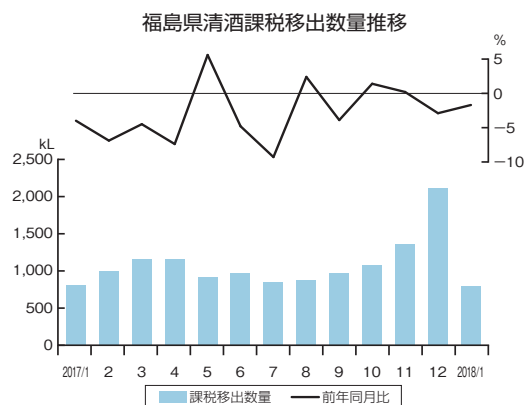
**電灯電力** 1月の電灯電力販売量は、1,314百万kWh（前年同月比+0.8%）となり、9カ月ぶりに前年を上回った。



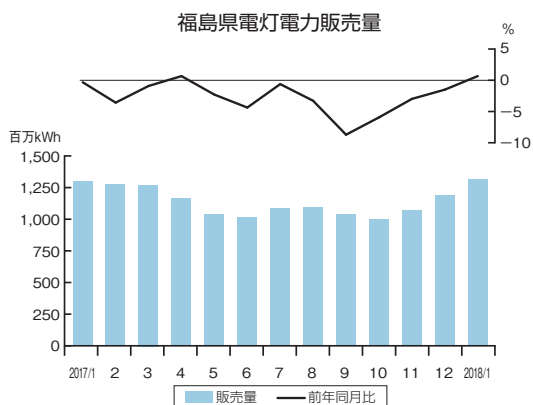
（資料：福島県企画調整部統計課）



（資料：福島県生コンクリート工業組合）



（資料：福島県酒造組合）



（資料：東北電力(株)福島支店）